

平成26年度

同好会事業報告

文学同好会

世話係 西原秀明 会長 清水幸子

月日	実施した事業内容	参加人員
5月2日	第1回 同好会 役員決定・年間計画立案	10人
7月31日	文学散歩 「小諸城跡 懐古園」	8名
8月1日	附属長野中学校の酒井秀樹副校長先生による講演会（ワークショップを含む） 「板書を生かした授業づくりについて演習、 ならびに講演」	14人
8月～ 12月 1月	それぞれが本を購入し、読後の感想と合わせてその本の紹介文を書く。 紹介文を冊子にし配布	10人

今年度の文学同好会では、「講演会」と、「夏の文学散歩」と「本の紹介」を行いました。講演会は七月三十一日（木）に「国語科の指導法について」と題し、附属長野中学校の副校長である酒井秀樹先生にお話していただきました。

先生には、木俣修の『たちまちに 涙あふれて 夜の市の 玩具売る場を 脱れ来にけり』という短歌を「短歌に込められた作者の気持ちを想像しよう」という学習問題で進めていく、板書を生かした授業づくりについて演習ならびに講演をしていただきました。『脱れ来にけり』という言葉に着目しました。不快な状態から逃げるという漢字ではなくそこからのがれたいという脱がれの漢字を使っているということから、玩具売場が作者にとって離れた場所となっている。そこから作者の気持ちを考えていこうという学習課題につなげていきました。表記の違いに作者の思いが込められていることがよくわかる素晴らしい教材を通して授業づくりのポイントを教えていただきました。

夏の文学散歩は、八月一日（金）に、昨年度まで東中学校長であり、現立科小学校の伴野健校長先生に小諸城址懐古園を案内していただきました。園内には小諸義塾記念館、島崎藤村作「高楼」にもとづく「惜別の碑」、若山牧水城石歌碑、高浜虚子句碑、藤村記念館、小山敬三美術館などたくさんのお名所がありました。伴野先生には資料も用意していただき、暑い中ではありましたが、とても勉強になる楽しい一日になりました。

最後は同好会員それぞれがお薦めの本の紹介文を書き冊子にまとめました。それぞれの個性あふれる紹介文のおかげでこんな興味深い本もあったのか読んでみようという思いになりました。来年は実際に本を持ち寄ってブックトークができればさらに勉強になるかと思えます。（会長 清水幸子）